

「マイペンライ」は、タイ語で「なんでもないよ。気にしないで」の意味。アジアの人々のおおらかな心で交流が広がるようにとの願いを表現しました。

マイペンライ 通信

編集・発行 アジア保育教育交流推進実行委員会
(略称：大阪マイペンライ)

http://cwoweb2.bai.ne.jp/osaka_maipenrai/index.html

2011年12月5日

No. 85

TEL 072-645-7772

(森代表事務所)

FAX 06-6581-8536

(部落解放同盟大阪府連)

事務局 090-3948-8372 (稲葉)

Jge17901@cw2.bai.ne.jp

招聘研修：タイのスタッフ2名が各地で交流

今年の招聘研修は第19回を迎え、タイからドゥアン・プラティープ財団(DPF)のタッサニー・ヘンプラセットさん(ニックネーム：メッサン)ノンラック・パーンデットさん(同：ラックさん)、同行・通訳の中川紀子さん(DPF)が来阪されました。

招聘したスタッフは9月10日に関西空港に到着し、11日のオリエンテーションの後、12日から各団体での受入研修・交流に入りました。受入いただいた組織は、部落解放同盟大阪府連は北芝支部、大阪教組は豊中市教組、自治労大阪府本部は大阪市職民生支部と茨木ユニオンです。

17日には加藤啓子さんによる絵本ワークショップをいろいろ子育て相談センターで実施し、19日はマイペンライ茨木との交流を実施しました。今年は日程の関係で、大阪府および大阪市への表敬訪問を行うことができませんでした。

多文化共生セミナー

9月22日、PLP会館4階で研修交流の報告会として多文化共生セミナーを開催しました。

セミナーには受け入れた組織の代表の方々も含め約90名の参加があり、現地のNPOの活動紹介と今回の研修・交流の感想が報告がありました。(写真はセミナーであいさつする森代表)

皆様のご協力に深く感謝いたします。(P2からスタッフの報告掲載)



タイの子どもたちの手作り絵本が「えほん展いろいろ」に

当会の活動に協力いただいているタイのシーカーアジア財団が運営する、クロントイ図書館、チュアパーン図書館活動で子どもたちが作った手作り絵本(10冊)が大阪市立子育ていろいろ相談センター主催の第9回「えほん展いろいろ」で展示されました。

当会が毎年実施している招聘研修ではタイのスタッフが絵本ワークショップ(講師：加藤啓子さん)を受講していますが、そこで学んだ手作り絵本がタイの子どもたちに伝わっています。

大阪マイペンライのホームページができました。【大阪マイペンライ】⇒クリック



(P5に続く)(写真はバンコクでの絵本ワークショップ)

目次 ■多文化共生セミナー(P1) ■「えほん展いろいろ」に手作り絵本(P1、P5~6) □スタディツアーに7名参加 ■招聘研修スタッフ報告(P2~5) ■会員となって交流の輪に! ・寄附金・会費のお願い(P6)

スタディツアーに7名が参加

ツアーは7名が参加し、12月12日に出発し、その日のうちにターク県に移動します。ターク県では、国際ボランティア貯金寄附金事業や大阪市従市民生活支部支援事業で支援した小学校の学生寮や山間部にある保育園を視察します。宿泊は2泊のホームステイが予定されており、文字通り顔と顔の見える交流です。

4日目にはバンコクに戻り、シーカーアジア財団、ドゥアン・プラティープ財団を訪問し、スラムでの事業を学びます。バンコクをはじめとするタイの洪水被害は復旧しつつありますが、スラム地区は低湿地に立地していることが多く、その被災状況が心配されます。そのため今年のツアーは洪水被害状況の把握も目的としています。

多文化共生セミナーでの招聘スタッフの報告

第19回大阪マイペンライ招聘研修を終えて

「重度の子どもたちの思いを時間をかけながらも受け止め対応しておられる職員の姿に、財団の難聴児クラスの対応を思い出す」「北芝支部で根強い差別があることと、様々な取り組みを積極的に進めておられることを学ぶ」

ドゥアン・プラティープ財団 高齢者プロジェクト担当
タッサニー・ヘンプラセツ

まず最初に訪問先の皆様や受入担当の方々には、心よりお礼を申し上げます。

12日～16日は、豊中市教職員組合、部落解放同盟大阪府連北芝支部に受け入れていただき、研修させていただきました。



豊中市立蛍池保育所、箕面市立萱野保育所については、同じ公立保育所なので同じような状況であろうと思っていましたが、保育室内の子ども数によって職員のかかわりが大きく異なることを学びました。蛍池保育所は、室内に子どもたちがたくさんいて、保育者はとても忙しそうでした。一方萱野保育所は、子どもに対しての保育者のかかわりに余裕があるように思いました。

豊中市の小学校・中学校の見学・交流させていただきました。生徒たちはとても積極的で、どんどん質問をだし、意見や感想も自主的に私たちに伝えてくれました。また、給

食室が完備され、衛生面・栄養面に注意した素晴らしい給食が提供されていることに驚きました。

萱野小学校では、5年生の算数の授業を見学しました。子ども自身が課題を選び、採点、チェックなど自分でするなど興味深い授業内容でした。また、一人一人の子どもの家庭状況が子どもの学力にマイナスになることのないよう、図書館の図書やコンピューターを積極的にすべての授業に活用され、子どもたちに公平な教育を提供するよう工夫されていることを学びました。

高齢者事業については、豊中市・箕面市養護老人ホーム組合永寿園、北芝地区の高齢者事業を見学させていただきました。高齢者たちが家庭にこもることなく社会性を維持した生活をおくることを目的として、豊中市・箕面市の行政が、高齢者のニーズに応える事業内容で運営されていることに感銘を受けました。タイでは、生活保護を必要とするスラム地区の高齢者たちは、行政の高齢者施策の対象になっていないのです。

まだまだ根強い差別があることを学び、北芝支部の様々な取り組みを積極的に進めておられることを学びました。就職差別の現実をおしえていただいた時には、われわれのクロントイスラムの青年たちがやっと就職してもすぐやめてしまい長続きしない姿を思いました。

17日の土曜日は、大阪市立子育ていろいろ相談センターを見学し、子育て・子育て支援の様々な事業を学びました。またそのあとの絵本の研修では、絵本の読み聞かせる技術や新聞のカラーの紙面を貼るだけで想像力を育むことができることを手作り絵本を作るなかで学びました。

19日～22日は、自治労茨木保育ユニオン、自治労大阪市職民生支部に受け入れていただき、研修させ

ていただきました。

茨木市の「森のひろば」では、転勤等で茨木市に居住し、地域のつながりが持てず不安を感じている子育て層に、自由なスペースとして広場を提供し住民に喜ばれていること、その活動に多くのボランティアが参加していることに感銘を受けました。

茨木市の子育て総合支援センターでは、非常に充実した設備、子どもの育ちや保護者のニーズに合った取り組みがされていることを学びました。また知的障がい児通園施設では、重度の子どもたちの思いを時間をかけながらも受け止め対応しておられる職員の姿に、当財団の難聴児クラスの子どもと職員の対応を思い出しました。

茨木市中央図書館はとても広いスペースで、利用者のニーズにこたえる書籍が借りられるよう司書の方が対応し、静かなムードで新聞やCDも楽しめることができるのがとても良いと思いました。

葦原デイサービスセンターでは、高齢者が入浴して気持ちもからだも気持ちよくなった後、みんなでゲームを楽しんでおられました。職員は一人一人の方に笑顔で話しかけられ、ゲームを楽しめるよう応援しておられました。101歳の方も楽しそうに参加しておられ、職員と高齢者の関係に感銘を受けました。

春日保育所では、子どもたちに元気に歓迎していただき圧倒されました。タイの言葉もすぐ覚えて、はきはきと質問してくれる姿がとても印象的でした。

台風15号の影響で、大阪市立清水保育所のプログラムが変更となってしまいました。が大宮第1保育所では、教職員の方と交流しました。大宮第1保育所の職員が1か月毎日練習した沖縄の踊りは素晴らしかった。職員みんなで取り組んだことに敬意を表したいと思いました。



サンローズ大阪(特別養護老人ホーム)の見学では、認知症の高齢者に対して家庭にいるような状態で受け入れたいと対応されている内容を学びました。またデイサービスの内容や特別養護老人ホーム、介護保険制度についても教えていただきました。

釜ヶ崎地区では、大半が単身の方々であること、その方々がこの町に住むに至った経過や現状の生活について学習しました。そして長期滞在をせざるをえないなかで家族との関係が途切れてしまった現実に驚きました。また住民への行政支援やNGOの取り組みを学びました。タイにもスラムが多くありますが、家族ともども暮らしており、単身の方はほとんどいません。また行政支援もほとんどありません。

経済大国と思っていた日本に、釜ヶ崎という地区があることに驚きましたが、釜ヶ崎の取り組みは素晴らしいと思いました。

受け入れていただいた組織の皆様には、10日の来日から今日まで、毎日細やかな心配りをしていただき、心よりお礼を申し上げます。2週間の滞在でずーっと思っていたのは、街にごみが落ちていない、規則正しく並んで電車等に乗車するなど規則正しい生活が作られている、勤勉であることなど日本の生活に触れることができました。

日常生活に触れて感じたこととともに、各研修させていただき体験しましたことを帰国してプラティープ財団事業に生かせるよう努力したいと思います。ありがとうございました。

第19回大阪マイペンライ招聘研修で学んだこと

「世代の壁を越え、老若男女が様々な活動を共にする住みよい街づくりを学ぶ」「釜ヶ崎の日雇い労働者たちに対する福祉や医療のシステムが充実していることがすばらしい」

ドゥアン・プラティープ財団 幼稚園教職員
ノンラック・パンデット

10日の来日から、皆様方にはいろいろとご配慮いただきとても感謝しています。

12日～16日は、豊中市教職員組合、部落解放同盟大阪府連北芝支部で研修を受けました。



幼稚園・保育所を見学して

とねやま幼稚園では、交通安全教室に参加しとても良い体験をしました。保護者も猛暑のなか子どもと一緒に楽しく過ごしていました。保育所では保育内容に工夫がされていて、子どもたちの子育て環境をふまえて施設内で野菜を栽培したり、廃材を活用して教材やおもちゃを作ることを通して、おもちゃを工夫して作る楽しさを子どもたちに提供していました。また、保育者が互いに協力しながら仕事をしている姿を学びました。

小学校・中学校を見学して

どの生徒も「タイ人が来た！！」と歓迎してくれたことがとてもうれしかったです。小学校 2 年生のクラスと一緒に給食をいただいた時などは、質問攻めにあい、「食べて！食べて！」と嬉しそうに対応してくれたことが印象深く心に残りました。小学校 6 年生の蛍池ソーラン、合唱は見事なもので、皆が一生懸命に披露してくれました。

第 18 中学校の見学では、理科の実験室の授業、美術教室の授業を見学し、楽しそうに授業に参加し想像力を

育んでいる子どもたちの姿を学ばせていただきました。また、学校全体でリサイクル運動に取り組み、車いすを購入し、障がい者に寄付することを目指している活動も学びました。

高齢者事業

「永寿園」の施設は広い敷地に建てられ、個室で生活しやすい環境を整え趣味を楽しむ場もあることなど、健康で豊かに暮らせるよう工夫されていることに驚きました。最高齢者(107 歳)小林さんとの面会はとても印象的で、記憶力・集中力などはきはきと会話され、生活が充実していることを実感しました。

北芝地区の「いこいの家」では、引きこもりを防ごうと地域の高齢者たちが互いに会おう場として活用する取り組みをされていました。また世代の壁を越え、地域の老若男女が様々な活動を共にする活動の工夫がされ、皆が住みよい街づくりを進めておられることを学びました。

17 日土曜日は、午後に加藤啓子さんから絵本の研修を受けました。新聞紙を活用して自分の絵本をつくりました。絵本を読むだけでなく、絵を見て想像する、お話を作る自由があることを学びました。

19 日から 22 日は、茨木マイペンライ、茨木保育ユニオン、大阪市職民生支部で研修させていただきました。

茨木マイペンライでは、大阪マイペンライの代表である森さんからお話を伺いました。若年層の出産の問題について伺い、クロトイスラムの問題と重なることを知りました。

茨木マイペンライでの絵本の貼り付け活動を見学しました。このような活動を通してタイに届けられていることを知りました。また、茨木市の活動として、高齢者が子どもたちの登下校時に横断歩道などに立って子どもたちの安全を見守っていることを知り、とても素晴らしい活動だと思いました。

茨木市立子育て総合支援センターの見学では、子育てについてのカウンセリング、年齢別に楽しめる部屋の充実、遊び遊具の貸し出しなど様々なシステムが充実していること、保護者へのセミナーも定期的に実施されているなど事業内容に感動しました。

知的障がい児施設では、所長の説明に感動しました。子どもたちの意思を尊重すること、楽しい活動を想像することなど、また保護者に対する相談や OB・OG の方々との集会などももち、運営の工夫に努力されて



いることなど素晴らしいと思いました。

春日保育所見学では、子どもたちの笑顔がとても素晴らしく、1歳2歳の子どもたちとも一緒に踊りを楽しみました。難聴の子どもも健常児と同様に踊りを楽しんでいるのがとても印象的でした。

葦原デイサービスセンターの見学では、高齢者のニーズ、健康面を配慮した活動に取り組み、入浴室など快適な施設に驚きました。職員が高齢者に笑顔でかかわっておられる姿に感動しました。

台風15号の影響で清水保育所の見学は変更になりましたが、大宮第1保育所の職員の皆様と交流することができました。1か月職員が練習した沖縄の踊りを披露いただきました。素晴らしい努力の成果にびっくりしました。またこちらからはタイ舞踊を披露し、一緒に楽しみました。

サンローズ大阪では、高齢者のニーズに応じたプログラムで取り組まれており、多くのことを学びました。

釜ヶ崎地区訪問では、クロントイイスラムと同じようにイメージしていました。がクロントイでは酔っぱらったり、ケンカなど多いのですが、それらがなくグループで座って語り合う姿が印象的でした。支援団体による食事の提供、相談を受けるシステムなどNGOの支援とともにさまざまな行政支援が実施されていることに驚きました。

10日から今日まで様々なことを学びましたが、その中でも印象深かったのは釜ヶ崎地区の訪問で①あいりん地区のあいりん銀行のシステムと“NPO 法人生活サポート釜ヶ崎”のほうで貯蓄の相談に応じていること。②日雇い労働者たちに対する福祉や医療のシステムが充実していることがすばらしいと感じました。

以上のことと保育所・幼稚園・学校で体験させていただいたことを、帰国しましたらプラティープ財団の事業、特に幼稚園の活動に生かしていきたいと思います。ありがとうございました。

夢があり愛情あふれる 素晴らしい絵本が

子どもたちの手作り絵本、 「えほん展いろいろ」に出展

タイ：シーカーアジア財団が運営するクロントイ図書館、チュアパーン図書館活動で作った手作り絵本（10冊）を、大阪市立子育ていろいろ相談センター主催の第9回「えほん展いろいろ」に出展しました。

シーカーアジア財団は、子どもたちの豊かな育ちを絵本を通して応援したいと移動図書館車を各地へ派遣したり、バンコクのスラム（クロントイ地区、チュアパーン地区、スワンプルー地区）で常設図書館を運営しています。



シーカーアジア財団の活動で多くの絵本に触れた子どもたちは絵本が大好きになり、絵本を通して様々なことを学び、絵本の世界を楽しみ、また自分の生活や夢を絵とお話で表現する絵本作りも楽しむことができました。

子どもたちの作品が、「えほん展いろいろ」に出展したのは今年で3回目。しかも今年は親子で図書館を楽しんでいるお母さんの作品もありました。

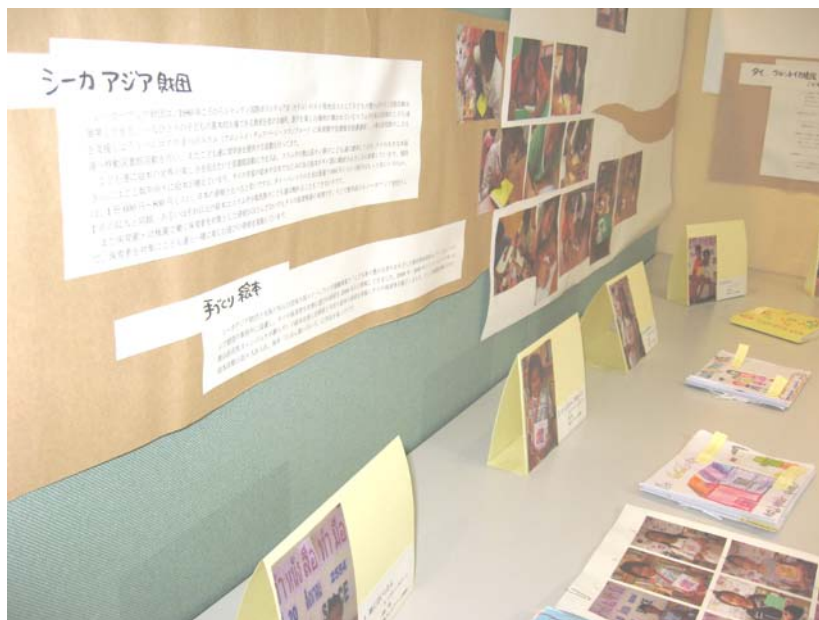
シーカーアジア財団図書館スタッフが、子どもたちや図書館利用者に手作り絵本製作を提案して活動に入ります。どんなお

話しにするのか、それぞれがイメージを膨らませお話しをつくり、紙面に表現します。そして最後に製本です。時間がなくてお話を表現した紙を張り合わせるだけの絵本になった子どももいますが、つくりたいお話は紙面いっぱいに広がっていました。

大阪市立子育ていろいろ相談センターは、絵本の楽しさを一人で・友達と・みんなで感じあってほしいと毎年「えほん展いろいろ」を開催しています。

センター全体に2000冊近い絵本を、面展台でこどもたちの目線の位置に展示しています。また、参加者の要望に応え絵本と一緒に楽しむ絵本ボランティアも配置され、思う存分絵本の世界を楽しむ「えほん展いろいろ」です。今年の「えほん展いろいろ」は、11月17日(木)～21日(月)の5日間開催され、近畿各地からの参加者、大阪府内・市内や近所の方がたくさん参加され、会場のにぎわいは大変なものでした。

タイの手作り絵本10冊は、子育ていろいろ相談センター「えほん展いろいろ」の企画委員会にて、スーパーバイザーの加藤啓子さんから披露いただき、大きな拍手を頂きました。スラムの子どもたちの生活背景はなかなか厳しく、10冊の作者の生活もきびしいものがあります。しかし、こどもたちの作品には夢があり、愛情にあふれている素晴らしい作品と大きな評価をいただきました。絵本展期間中も参加者が手にとってお話を楽しんでいました。



これらえほん展での作品について、その評価と大阪市立子育ていろいろ相談センターからの感謝状を携えて、大阪マイペンライからのプレゼントとともに、12月に訪タイしてこどもたちにお届けする予定です。

会員となって交流の輪に入りませんか！！

新規会員を募集中です。会員になっていただける方は郵便振込用紙でお申し込みください。引き続き、国際ボランティア貯金事業への寄付もお願いしています。ご協力よろしくお願ひいたします。

会員(団体・個人)の皆さんへ 会費納入のお願い

当会の活動は皆さんの会費で支えられています。2010年度・2011年度の会費の納入をお願いします。(複数年の未納がある場合は分割可)

宛名シールの名前の横の数字がすでに納入いただいている年度です。(09=2009年度まで納入)郵便振替や銀行振込でお振込みください。個人の方は年間3000円、団体は年間10000円の納入をお願いします。

郵便振替 **口座番号 00910-4-18125 加入者名 アジアの保育教育交流推進実行委員会**

銀行口座 **りそな銀行 桜川支店 普通預金 口座番号 2100152**

口座名義 アジア保育教育交流推進委員会